

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(3月24日～3月31日)

2024年4月10日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領は、西側への攻撃を改めて否定(3月26日)
- スウェーデン在留ベラルーシ人に対する外国人用旅券の発給(3月27日)
- 2024年1月1日時点のベラルーシの総人口は915万5,978人(3月28日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●西側への攻撃を改めて否定

ルカシェンコ大統領は、グロドノ州オシミヤヌィ市を訪問し点検参加部隊を視察した際、以下のとおり発言。

・(ロシアとベラルーシが西側諸国を攻撃する計画について、)全くばかげている。我々は西側を攻撃するつもりはない。我々はここで防衛システムを構築している。彼ら(西側)は、何らかの形で我々に反撃をさせるよう挑発している。ウクライナ国境を通じた破壊工作グループを送り込んでいる事例を見てみると良い。

・我々がどこかで落ち着けば、彼らは我々を攻撃するだろう。これは間違いない。しかし、我々はその道に進むつもりはない。もし彼らが突然動いたら、我々は非常に真剣に対応する。

・いかなる挑発行為も武力によって阻止しなければならない。冗談では済まされない。国境を侵犯した場合は一掃する。誰に対しても儀礼的であってはならない。我々はそうするつもりだ。

(3月26日 大統領府)

【外交】

●スウェーデン在留ベラルーシ人に対する外国人用旅券の発給

・スウェーデン移民庁は、旅券の有効期限が切れ、更新できない状況にあるベラルーシ人に対し、外国人用旅券の発給が可能である旨発表。

・また、ベラルーシ人が在外公館経由でも本国でも旅券を取得できないといった場合、旅券なしでもスウェーデン移住許可が付与されることもあり得る。

(3月27日 「ゼルカロ(鏡)」、Pozirk)

●ポーランド、ラトビア、リトアニアによるベラルーシへの自動車の輸出に関する制限の導入

・3月23日、ポーランドは、1900ccを超える自動車及び5万ユーロ以上の価格の自動車の、ベラルーシへの輸出を禁止。同措置は、同国からベラルーシに輸出する際に一時的に付与されるナンバーのついた車に適用され、ディーラー、個人ともに対象となる。

・26日にはラトビアが、29日にはリトアニアが、同様の措置を導入。

・いずれも事前に正式に通知されていなかったため、23日以降はラトビア及びリトアニア国境へ、26日以降はリトアニア国境へと自動車が殺到し、行列が発生。

・29日未明、リトアニア・ベラルーシ国境で、1900ccを超える自動車及び電気自動車の通行が許可されなくなり、現在も国境前に該当する自動車が駐車されている。

・29日、リトアニア国境検問地点「シャルチニンカイ」(ベラルーシ側「ベニヤコニ」)で、リトアニアの税関がBMW X1を没収。リトアニア税関は、今次措置に違反した場合、罰金を科し、車両を没収すると発表している。

(3月23日、26日、29日 「ゼルカロ(鏡)」、25日、28日 ベラルーシ税関)

●ルーマニア及びブルガリアはベラルーシ人へのシェンゲン査証発給を開始

・在ベラルーシ・ルーマニア大使館は、3月31日以降、ベラルーシ人へのシェンゲン査証の発給を開始すると発表。

・在ベラルーシ・ブルガリア大使館は、4月15日以降、VFS Global社を介し、各州の州都をはじめ9都市でベ

ラルーシ人へのシェンゲン査証の発給を開始する旨発表。

(3月28日 在ベラルーシ・ルーマニア大使館、「ゼルカロ(鏡)」)、4月1日 在ベラルーシ・ブルガリア大使館、「ゼルカロ(鏡)」)

【内政】

●3月30日現在の政治犯の数は1,404人

(3月30日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【軍事・安全保障】

●過去1か月間のベラルーシから欧州への不法越境の試み

(3月1日～29日)

- ・リトアニア国境警備局は少なくとも105人を阻止。
- ・ラトビア国境警備隊は少なくとも666人を阻止。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも2,931人を阻止。

(3月30日 Pozirk)

【治安・犯罪】

●モスクワのテロでベラルーシ人3人が死亡

・3月24日から26日にかけて、在ロシア・ベラルーシ大使館は、モスクワの「クロッカス・シティ・ホール」で起きたテロでベラルーシ人3人が死亡したと発表。うち1人は、同施設で警備員として勤務していた。

(3月24日～26日 在ベラルーシ・ロシア大使館)

●不審な人物によるSNS上でのテロへの参加の呼びかけの発生

・内務省は、モスクワでのテロ発生後、複数のベラルーシ人のTelegramのプライベートチャットに、何者かによるテロへの参加を呼びかけるメッセージが届いていると警告。

・公開されたメッセージでは、ショッピングモールでの銃撃や地雷を仕掛けるよう要求されており、報酬の支払いが示唆されている。

・同様の事例はウクライナ、ロシアでも発生。これを受けて、Telegram社は、テロを呼びかけるメッセージを送信しようとする数万件の試みを阻止し、数千人のユーザーのアカウントを永久にブロック。また、4月1日

以降、プライベートメッセージを送ることができるユーザーを制限できる機能を導入した。

(3月25日「ゼルカロ(鏡)」)

【経済】

●個人使用目的での商品の免税輸入基準の変更

4月1日より、免税が適用される商品は以下のとおり。

- ・陸上輸送で輸入される商品:500ユーロ以内、25kg以内(以前は1,000ユーロ以内、31kg以内であった)。
- ・国際郵便で輸入される商品及び運送業者によって輸入される個人宛の商品:200ユーロ以内、31kg以内。
- ・航空輸送で輸入される個人使用目的の商品:1万ユーロ以内、50kg以内(変更無し)。

(3月26日「ゼルカロ(鏡)」)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

・3月25日、「自由の日」(1918年にベラルーシ人民共和国が独立宣言した日)を祝うビデオメッセージを公開。チハノフスカヤ氏は、「今日、ベラルーシは、ウクライナに侵略戦争を仕掛けるロシア帝国の人質となっており、我々の独立とアイデンティティを打ち砕いている」「しかし、我々がともにいて諦めない限り、我々は勝利に向かって進んでいるのである」と発言。

・同日、「自由の日」に寄せて、ジョンソン元英国首相、在ベラルーシ米国大使館、シュチエルバ NATO 加盟国国會議員会議会長、メツォラ欧州議會議長、ラトビア外務省、スロベニア外務省、ビルストロム・スウェーデン外務大臣等がそれぞれ声明やコメントを発表し、民主主義を求めるベラルーシ人に対する支持を表明。

・26日、チェコを訪問。パヴェル大統領、リパフスキー外相、ベク教育・青年・スポーツ大臣、ドヴォジャーク欧州問題担当大臣らとそれぞれ会談。

・同日、チェコにベラルーシ民主勢力事務所を創設。

・27日、ストラスブールを訪問し、欧州評議会地方自治体会議に出席し、欧州在住のベラルーシ人への支援につき演説。

(3月25日 Pozirk、4月1日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

【その他】

●ポーランド在留ベラルーシ人の増加

・ポーランド外国人局は、2024年2月29日現在、12万4,438人のベラルーシ人がポーランド発行の有効な滞在許可証を所有していると発表(2020年8月の4倍以上に相当)。

・うち、一時滞在許可証は7万4,000人以上に付与されている。

・2020年8月9日から2024年2月29日までの間で、同国ではベラルーシ人10,161人が国際保護を申請(ウクライナ人に次ぎ2番目に多い)。

(3月28日「ゼルカロ(鏡)」)

【統計等】

●2024年1月1日現在の人口

人口

全国 915万5,978人

(内訳)

都市部 719万8,285人

農村部 195万7,693人

(2023年は920万617人)

ブレスト州 130万8,569人

ヴィテプスク

州

ゴメリ州 133万8,617人

グロドノ州 99万2,556人

ミンスク州 146万 289人

モギリョフ州 98万1,174人

ミンスク市 199万2,862人

(3月28日 国家統計委員会)

(了)